

2019年2月28日  
住友生命保険相互会社

日立キャピタル株式会社が発行する「グリーンボンド」への投資について

住友生命保険相互会社（社長 橋本雅博）は、日立キャピタル株式会社が発行する「グリーンボンド」への投資を決定しました。

「グリーンボンド」とは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券で、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券です。本債券の調達資金は、再生可能エネルギー事業（太陽光発電事業）に充当される予定です。

当社は、経営方針のひとつとして「CSR経営方針」を策定し、国連が提唱した持続可能な開発目標「SDGs」も踏まえつつ、CSR経営を推進しています。

その一環として、資産運用においては、環境・社会・ガバナンスといった社会的課題の視点を取り入れた「ESG投資」を行っており、本債券への投資もこうした枠組みに貢献するものと考えています。

引き続き、ステークホルダーからの期待に応え、社会への責任を果たすとともに、資産運用の高度化を通じて、運用収益の向上・確保に取り組んでまいります。

<本債券の概要>

発行体：日立キャピタル株式会社（S&P格付け：A-）

発行額：総額100億円

年限：5年

以上